

ハワイで介助の“心”を学ぶ 先進的バリアフリーを学ぶスタディーツアーハワイ 5日間

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：平林朗 以下 H.I.S.）バリアフリーデスクは、株式会社 ミライロ（本社：大阪府大阪市 代表取締役社長 垣内俊哉）との共同企画で、バリアフリーデスクとしては初めてのスタディーツアーとして『アメリカの先進的バリアフリーを学ぶスタディーツアーハワイ 5日間』を企画し、発売を開始しております。2015年7月にも同ツアーを、主にサービス業に従事されている方に向けて用意しておりましたが、来春施行される『障害者差別解消法』についてまだ認知が薄く、「もっと日常生活で生かせる内容を学びたい。」7月出発の設定に限定されており「料金が高い。」というお声をいただき、この度、参加対象を広げ、コースを見直し、10月出発を設定しました。ケアマネジャーや福祉施設にお勤めの方、福祉を学ばれている学生さん、実際にご家族を介護されている方、車椅子をご利用の方など様々な方にご参加いただければと考えております。

商品 URL：http://www.his-j.com/tyo/barrierfree/sp_hawaii.html

昨今観光庁でも、すべての人が楽しみ、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行『ユニバーサルツーリズム』の普及・促進する方針が掲げられております。また、2016年4月1日に「障害者差別解消法」が施行され、障害を理由とする差別を禁止し、合理的な配慮を行うことが求められます。

高齢社会が進み、今後高齢者やおからだの不自由な方が一層増えることが想定される今、ユニバーサル社会環境を、日常生活の中で浸透させていくためには、バリアフリーなどのハード面での正しい情報に加え、ソフト面であるマナーや対応を学ぶことが不可欠になりつつあります。今回企画したツアーは、バリアフリー先進国アメリカ・ハワイ

にて、日本ユニバーサルマナー協会講師でありご自身も車椅子での生活をされている岸田ひろ実さんが、ハワイのユニバーサル事情について解説しながらハワイをめぐるコースになっております。

ハワイでは、1990年にADA法（公共施設のバリアフリー化の義務付けなど、障害による差別を禁止する公民権法）が施行されており、日常生活にバリアフリーやユニバーサルマナーの考えが根付いています。ツアーでは、ショッピングモールや朝市の「KCCファーマーズマーケット」、ワイキキビーチなど有名観光スポットを巡ります。その行程内で、車椅子対応車両「ザ・バス」の乗車やビーチ用車椅子「ランディーズ」の利用など、岸田ひろ実さんが同行し、「健常者では気づかない視点」で、ハード面だけでなく、現地の人たちの障がい者への対応といった“ソフト”面も実際に見て、日本での生活に繋がればと考えております。他にも、個人では観光が難しい知的障がい者教育現場訓練センターの施設見学や、ハワイ在住の日本人障がい者の方を招待した夕食会でハワイのユニバーサル事情について話を聞ける機会も設けています。最終日には、ハワイ限定のユニバーサル研修会を実施し、参加者全員にオリジナル修了証をお渡しいたします。

バリアフリートラベル専門デスクは設立から14年が経過しました。障がい者、高齢者を取り巻く環境や旅行希望者のニーズも確実に変化しています。様々な配慮が必要な人たちが気持ちよく外出やご旅行をお楽しみいただける障壁のない社会の実現に向けて、ツアーを通じた学びの機会を、今後もより多く創出していきたいと考えております。

アメリカの先進的バリアフリーを学ぶ スタディーツアーハワイ 5日間

出発日：2015年10月15日（木）出発
旅行代金：198,000円（燃油サーチャージ含む）
学生割引：30,000円引き／ペア割引：5,000円引き
※同時利用は不可。
※一人参加代金：39,000円
最少催行人員：10名様

株式会社ミライロ講師 日本ユニバーサルマナー協会講師

<経歴>



岸田ひろ実

知的障害のある長男の出産、夫の突然死を経験した後、自身も2008年に急性大動脈解離という病気で倒れる。後遺症で下半身に麻痺が残り、以来車椅子での生活となる。心理学を学び自身の経験と心理学を通じて、人々の心や体を元気にしたいと考える。車椅子の方など障害のあるお客様への接客研修の講師など、自身の経験を活かした講演講師として活動している。

